

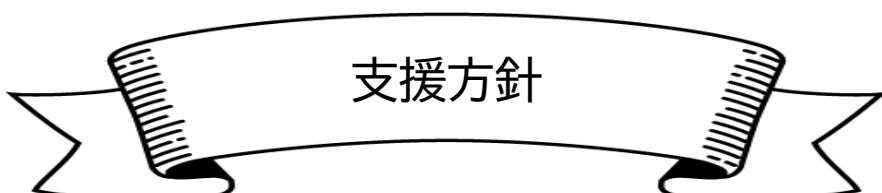
アイラックのご紹介(2024 年度版)(2024.9.1 作成)

～子どもたちの未来を支える療育を 家族とともに～

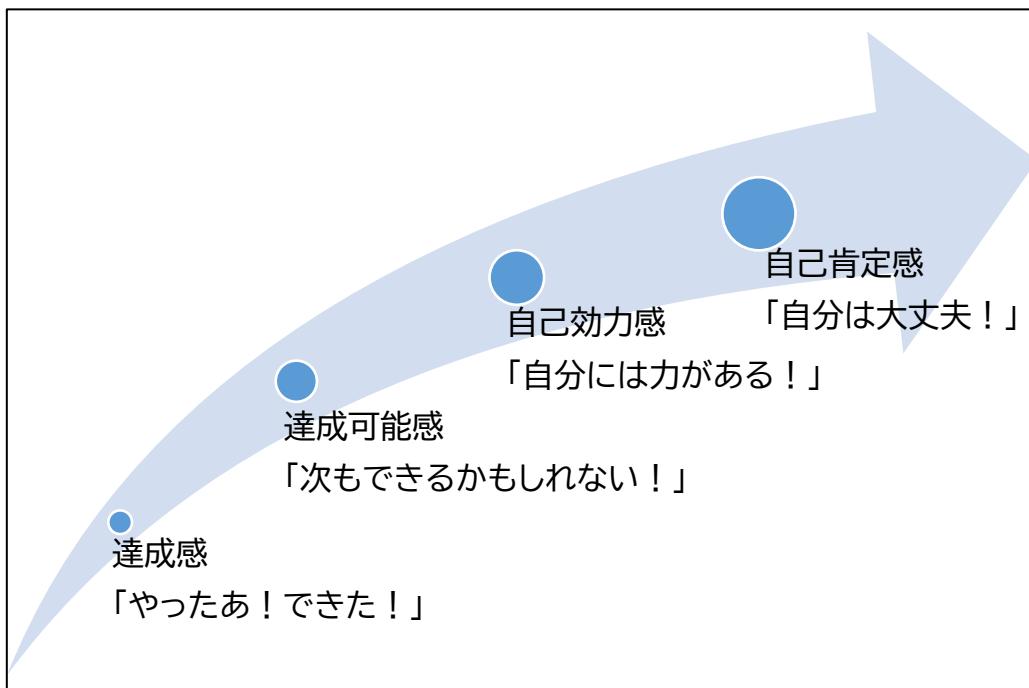
アイラックは、神奈川県座間市にある指定児童発達支援事業所・指定放課後等デイサービス事業所です。

高校 3 年生までの発達につまづきを持つお子さんへ、療育を提供しています。

事業所名	アイラック	送迎の有無	なし
営業日	月曜日～日曜日 (毎月第2日曜日と事業所が定める休日を除く)	営業時間	月火木土日 9:00～18:00 水金 9:15～18:15
法人理念	<p>私たちは、「誰もが、その人らしく自己を実現し、尊厳を保ち、安心して共に生きる社会」を実現することを基本理念とします。</p> <p>① すべての子ども・人が、楽しさを感じながら育ち・育てるための支援をし続けます。</p> <p>② すべての子ども・人が、楽しさと喜びを感じられる「家」のような存在であり続けます。</p> <p>③ 誰もが、その人らしく生き、自分をいきいきと表現する人生を支えます。</p> <p>④ 全ての人が支え合い、大切に想い合う社会の構成員となり、誰もが安心して暮らすことのできる地域であり続けるための貢献をします。</p>		



アイラックの療育では、お子さんにも保護者の方にもこの過程を経ていただきたいと思っています。



お子さんには、まさにこの「達成感」と「達成可能感」を、何度も、いろんな場面で、繰り返し経験して欲しい！

そのために、お子さんの発達段階や特性を理解し、お子さんに合った活動を提供します。

そのうちに、「自分には力がある！」と思って、大きな挑戦もし始めるでしょう。

そんな過程を経ることができたら、「自分は大丈夫！」と自己肯定感を得られます。

自己肯定感を得られると、自分を認め、自分の人生を自分で選び取っていけるはずです。

保護者の方には、子育ての中でのつまづきが上手くいくための方法を見つけ、やってみることから始めて欲しい！

そのために、お子さんの発達段階や特性をご説明し、支援や関わりの工夫・方法をたくさんお見せします。

「〇〇できない」「△△になっちゃう」を、「こうやつたら上手くいった！」「私にもできた！やつたあ！」へ。

「こうやつたら上手くいった！」を何度も繰り返して、「次もできるかもしれない！」へ。

それが、保護者の方自身での工夫の始まりです。

「こうやつたら上手くいくかもしれない！」を自分で考えて、小さな成功を繰り返していくうちに、

「自分には育てる力がある！」に繋がります。

さらにその繰り返しから、「私はこの子をこの子らしく育てて行ける！大丈夫！」へ。

お子さんにも保護者の方にも、この「自己肯定感」を得て頂くために、次のことを特に大切にしています。

●子どもたちの未来を支える第一歩●

① お子さんの意思・気持ちを大切にすること

何よりお子さんの意思・気持ちを大切にしています。意思や気持ちを汲み取られないまま成長していくと、不全感や無能感・常に苛立ちなどを抱えることにつながります。ひとりの子どもとして、人として、尊重されることが今後の人生の全ての基礎になるとを考えています。時にはお子さんの意思や気持ちが、保護者の方と相反することや、社会から受け入れがたいこともあるかもしれません。どんな理由で周囲や社会と隔たりがあるのか、どのようにアプローチすれば解消されるのか検討し、お子さん自身だけでなく、環境(人・物・空間や時間など)の双方に働きかけることで、豊かな生活を目指します。

② 保護者の方との連携・ご家庭での実践

お子さんに一番近い存在である保護者の方と一緒に、療育を行います。アイラックの療育で見つけた支援方法をご家庭でも実践していただくことをお願いします。アイラックでのみ支援を行い、成長した姿が見られたとしても、日々の生活の中ではわずかな時間です。生活の基盤はご家庭。生活の基盤が安定すると、基盤にある基礎的な人間関係(=親子関係)が安定します。生活の基盤と親子関係が安定することで、お子さんの成長は加速度を増します。だからこそ、ご家庭での実践が必要不可欠だと考えています。アイラックでの療育の中で、お子さんと一緒に見つめ、保護者の方からのお話も伺い、適切なアプローチを一緒に考えましょう。そしてお子さんに合った支援を見つけ、ご家庭に持ち帰って実践していただくことで、お子さんの安定と成長につなげましょう。

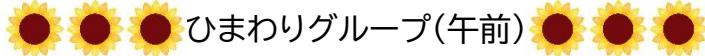
●児童発達支援・放課後等デイサービスの基本的な支援内容●

児童発達支援	療育のスタートです。お子さんと保護者の方が、お互いをわかり合い、信頼関係を築くことが初めの一歩。お子さんの発達のつまずき(特性)を理論に沿って客観的に分析し、保護者の方と共有します。その上で、お子さんに合った支援方法を探し、試行錯誤する中で、お子さんとの信頼関係を強めていきます。お子さんが「わかる」こと・「できた！」と思えることを大切に。保護者の方だけでなく、スタッフなど大人全体に信頼感が広がっていくことが、その後の人生に大きく影響します。
放課後等 デイサービス	将来を見据え、少しづつ保護者の方以外の大人との体験を広げます。年齢・性別・特性その他、お子さんのご様子や課題に合わせて、課題(学習)や、ボディイメージ・協調運動などの身体の使い方、同世代との付き合い方・相談の仕方、自己理解など、取り組む内容は多種多様です。いずれもお子さんのご様子を理論に沿って客観的に分析し、把握した上で実施します。保護者の方ももちろんご相談いただけますが、必要に応じ、お子さんご本人から単独(保護者の方が同席しない)でご相談をお受けすることもあります。

家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 年10回の保護者向け勉強会の実施 特性理解や視覚支援・環境調整・コミュニケーション支援・将来への見通しなど、毎月テーマは異なります。ご家族が必要と思われるテーマの月にお申込みいただけます。 ● ご家族からの個別相談への対応 アイラックでの様子だけでなく、ご家庭・ごきょうだいの困りごと、就学・進路のこと、学校生活のこと、将来のこと、など、ご家族のニーズに応じて個別相談に応じます。 ● ごきょうだいの療育への同行支援 過ごして頂く別室の用意や、過ごし方のご相談をお受けしています。
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 就学・進学・就労の際に、お子さんの情報を取りまとめるサポートブックの作成を支援します。 ● 就学先等と、お子さんの情報を共有し、適切な支援のもとで新生活が始められることを支援します。 ● 在籍校等を訪問し、お子さんのご様子の確認や、先生方との情報交換を行います。
地域支援 ・ 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ● プログラムの中で、地域資源をたくさん使います。お子さんが地域の中で、フォーマルな資源もインフォーマルな資源も有意義に使っていけることを支援します。 ● 地域の方も参加できるアイラックマーケットの開催や、グループ会社の施設を使ったイベントの開催などにより、地域との連携を深めています。 ● 自立支援協議会へ積極的に参加しています。
職員の質の向上 に資する取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 年10回の保護者向け勉強会への共同参加 ● 外部研修参加への支援(研修参加費補助・勤務内での研修参加の保証等)
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童発達支援:お子さんだけで参加するイベントの実施(年3回) ● 放課後等デイサービス:社会体験活動としてのイベントの実施(年3回) ● アイラックマーケット(就労体験グループの発表の場として年1回実施。経済サイクルの体験・接客体験など) ● スイミング・ダンス・体操などの発表会(年1回)

基本療育のご紹介～児童発達支援～

未就学のお子さん対象の児童発達支援の療育は、グループ療育が基本です。実際にご利用いただくグループは、お子さんのご様子や課題に応じてご相談の上、決定します。



ひまわりグループ(午前)

ひまわりグループは、アイラックの療育を初めてご利用いただく方やお子さんお一人おひとりのペースを大切にすることが療育的に有効な方が対象となります。お互いの物の見方や考え方を知り、わかる方法で伝えあい、「通じた！」・「わかった！」をたくさん積み重ね、大人への信頼感を確実にすることが、どのお子さん・保護者の方にも共通する絶対的な課題です。

<療育の流れ>

内容 5領域との関係性	様子	めあて・視点
自由遊び 健康・生活 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びを見つける 大人と一緒に遊び、楽しさを共有する 大人への信頼感を育む
個別課題 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> 遊びから課題への切り替え(個別) 1 カゴづつ取り組む、終わったら片付けるという流れを理解する できた嬉しさを大人と共有する
サークル 運動・感覚 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> 身体の動かし方を知る 順番や待つことを知る
あつまり 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く・見る姿勢の基礎作り 順番・待つことを知る
公園 健康・生活 言語・コミュニケーション 運動・感覚		<ul style="list-style-type: none"> 他者意識を育む(大人と手をつないで、一緒に歩くことから) 大人やお友だちと一緒に遊び、楽しさを共有する
おやつ 健康・生活 言語・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> 「いる」・「いらない」や「ください」など意思を大人に伝える
さようなら 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> 帰宅への切り替え

フォローアップグループ(午後)

フォローアップグループは、ひまわりグループで基礎を積み重ねた後、集団活動や社会性を中心とした小学校準備をする方が対象となります。大人への信頼感があり、「褒められたら嬉しい」・「褒められたい」気持ちがあつて初めて、難しい課題にも取り組むことができます。小学校は、幼稚園・保育園よりも集団が大きくなり、一斉指示も各段に多くなります。そんな中でも、必要な時に必要な内容に注意を向け、自分の行動をコントロールできるように。わからないことは、質問したり助けを求めたりして混乱せずにに対応できるように。そして、褒められて、「私って、できるじゃん！」と思えるように。入学前にたくさん練習して、たくさん失敗と成功を積み重ねます。

<療育の流れ>

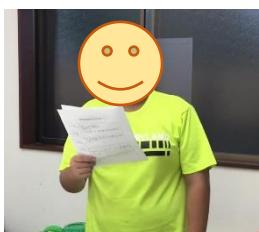
内容	様子	めあて・視点
自由遊び 健康・生活 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> 好きな遊びを中心に、大人やお友だちと遊ぶ おもちゃの貸し借りや見立て遊び・簡単なルールのある遊びを体験する
個別課題 運動・感覚 認知・行動 言語・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> 遊びから課題へ決まった時間での切り替え(一斉実施) 基本の流れをわかって一人で取り組み、わからない時や困った時に手伝いを依頼する(支援要請)
あつまり 認知・行動 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> より長い待ち時間での着席・待つ練習 名前や指示された内容をその場で考えて発表する 小学校入学に向けた認知(言葉・数・記憶など)課題、言語指示の理解
ムーブメント 運動・感覚 言語・コミュニケーション 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> ボディイメージや協調運動の獲得 動きのある活動の中で、一斉指示を理解し、行動をコントロールする 勝ち負け(負ける練習)
ジュース購入 健康・生活 人間関係・社会性		<ul style="list-style-type: none"> 労働概念理解を見据えた買い物体験(頑張った後の喜び) 好きなものを選択する・意思を伝える
おやつ 健康・生活 言語・コミュニケーション		<ul style="list-style-type: none"> 欲しいものを伝える おかしの名称の記憶・一斉指示や数の理解
さようなら		<ul style="list-style-type: none"> 帰宅への切り替え

フォローアップグループは集団活動や社会性が中心となりますので、ひまわりグループと比較すると”課題感”が強くなります。お子さんも保護者の方も、時には疲れたり、気持ちに余裕が無くなったりすることがあるかもしれません。そんな時は、ぜひスタッフに声をかけていただき、お気持ちを聞かせていただければと思います。

基本療育のご紹介～放課後等デイサービス～

小学1年生～高校3年生のお子さん対象の放課後等デイサービスの療育は、グループ療育が基本です(お子さんのご様子や必要性等から個別療育をご案内する場合もあります)。グループは、年齢・性別・特性・趣味嗜好・ご様子などを元に、一緒にグループで療育を行うことで、お子さん自身が楽しく参加し、かつ療育的な効果があるよう編成しています。

<大まかな学年別的内容>

小1 ～ 小3				
	あつまり (人間関係・社会性)	課題(学習) (認知・行動、言語・コミュニケーション)	ムーブメント (健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性)	
	学校の学習状況確認も含め、課題の時間を設けています。机の配置は、班別学習を想定して集合形式にしたり、集中できるよう個別形式にしたりと、お子さんのご様子に沿って決めています。ムーブメントは、児童発達支援で取り組んできた内容に社会性や難易度を上げた身体の使い方・算数や国語の要素を追加して行います。何度も挑戦できる環境の中で、楽しさを感じながら、「考えて」・「動いて」・「みんなでできた喜びを感じる」時間です。			
小4 ～ 小6				
	あつまり (人間関係・社会性)	メイン活動(予定相談・調理・製作・外出・「先生の日」他) (5領域の関連性は、個別支援計画に基づき定めた活動内容によります)		
	メイン活動をお子さん同士で相談して決めていきます。自分の意見を言う・相手の意見を聞く・相違がある時はお互いが譲り合って折り合いをつける…大人が行う相談の第一歩です。活動には、お子さんそれぞれの課題も組み込み、楽しみながら課題にも取り組みます。また、小学4年以降は徐々に学習も人間関係も抽象度が増し、身体的変化も相まって、難しさを抱えることがあります。「先生の日」では、「女子の輪の過ごし方」・「体のケアについて」などを行い、日々の生活を後押しします。			
中・ 高生				
	メイン活動(予定相談・調理・製作・社会資源を活用した余暇活動・プレゼン・お仕事体験他) (5領域の関連性は、個別支援計画に基づき定めた活動内容によります)			
	基本的な流れは小4～6と変わらず、より範囲や規模の大きい内容や将来の自立に向けた内容となります。これまでの相談を活かし、「相手に伝わるように」おすすめのスマホアプリを紹介するプレゼンや、地域の社会資源を使用した余暇・お仕事体験などです。この時期は、保護者の方とは一定程度距離ができ、保護者でない大人だから話せること、友だちだから話せることも多くの時期です。月1回の療育が、そういった話や相談・気持ちのリフレッシュになるようにすることも大切にしています。			

付加療育のご紹介

本人支援の具体的な内容と
5領域の関連性

アイラックでは、基本の療育にプラスアルファでご利用いただける付加療育を実施しています。ご利用のサービス(児童発達支援または放課後等デイサービス)により、ご利用いただけるものが異なりますので、下表及び次ページ以降の詳細をご確認下さい。ご希望に際しては、各療育紹介の中の「アプローチする療育課題」をご覧いただき、お子さんのご様子と照らし合わせながらご検討ください。基本療育同様、**めあてや目標を明確にするとともに、お子さん自身が主体的にご参加いただけますよう、お子さんとも十分ご相談いただくようお願いいたします。**療育として運動・自己コントロール・成人期への準備等を実施いたしますので、一般的な習い事等で目標を達成可能な方のご利用につきましては、ご相談させていただく可能性もございます。

実施日時・場所につきましては、次年度以降、変更となる可能性がございます。ご不明な点などがございましたら、スタッフまでお気軽にお声掛け下さい。

<児童発達支援をご利用の方>

種類	対象	実施日時	実施場所	利用回数	※実施形態
体操	児童発達支援をご利用の方全員	お子さんの年齢・特性・ご様子・課題等に合わせてご相談	調整中	月1回	親子
スイミング	児童発達支援をご利用の方全員	毎週金曜日 13:45~15:30 ※入水時間 14:00~15:00	Swimming&Wellness IROHA プール	月1~4回 (応相談)	親子

<放課後等デイサービスご利用の方>

種類	対象	実施日時	実施場所	利用回数	※実施形態
追加個別療育	小学生(低学年優先)	応相談	アイラック	月1回	分離
ダンス	小学生~高校生	お子さんの年齢・特性・ご様子・課題等に合わせてご相談	調整中	月1回	分離
体操	小学生~高校生	お子さんの年齢・特性・ご様子・課題等に合わせてご相談	調整中	月1回	分離
スイミング 親子グループ	小学生~高校生	毎週土曜日 9:45~11:30 ※入水時間 10:00~11:00	Swimming&Wellness IROHA プール	月1回	親子
スイミング 生涯スポーツグループ	応相談(親子グループからの移行が適切な方)	第1土曜日 9:45~11:30 第3土曜日 9:45~11:30 第4土曜日 9:45~11:30 ※入水時間 10:00~11:00	Swimming&Wellness IROHA プール	月1回	分離
書道教室	小学生~高校生	第2木曜日 16:15~18:00 第3金曜日 16:30~18:15 第4金曜日 16:30~18:15	アイラック	月1回	分離
就労体験	中・高校生	お子さんの年齢・特性・ご様子・課題等に合わせてご相談	アイラック	月1回	分離

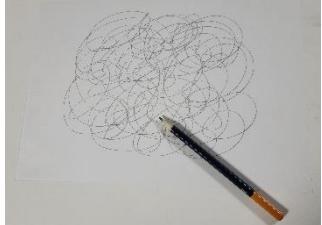
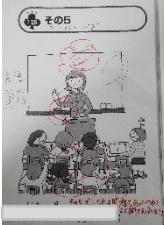
※アイラック以外の場所で実施する療育につきましては、スタッフ移動用の公用車に同乗する形での送迎がございます。アイラックと実施場所の間の送迎となります。

※実施形態:「分離」はお子さんのみ、「親子」は保護者の方も一緒にご参加いただきます(スイミングは保護者の方も入水いただきます)。

追加個別

放課後等
ディサービス

スタッフと1対1で取り組むことで療育的効果のある内容を実施します。例えばグループ療育と同じ内容を取り組むこともあります(グループの縮小版というイメージ)、学習やコミュニケーションに不可欠な集中し続ける練習・相手の話を聞き取る練習をすることもあります。日常生活の中で必ず発生する待ち時間と一緒に安定的に過ごすためのツール探しとして様々な余暇を体験するお子さんも。お子さんのご様子や必要性・個別療育の目標に応じてご相談させていただきます。

			
集中し続ける練習 「ぐるぐる書き」	聞き取り練習 ヒントを聞き取って答えに○を付けます	待ち時間を使い過ごすツール探し アイロンビーズ・透明トレカ作り	

アプローチする療育課題

(5領域の関連性は、個別支援計画に基づき定めた活動内容によります)

個別ならではの 気付き	スタッフとの距離が近く、周囲からの刺激は少ない個別療育。相手が明確なことで自分の思いや考えを表現しやすかったり、刺激の少なさから目の前の作業に集中しやすかったりすることがあります。反対にスタッフとの距離が近いことで緊張しやすかったり、特定の出来事に集中し過ぎたりすることも。基本療育と個別療育での様子の違いを共有し、それぞれの療育の特徴を活かしたアプローチを行います。
生活への視点	家庭・学校・習い事…人数に違いはあるけど、社会生活のほとんどは集団生活です。個別療育は「1対1」の形ですが、社会生活=集団への視点を大切にしています。学校での学習に必要な周囲の刺激に惑わされず集中し続けるための「ぐるぐる書き」・切り替えに使うことが多い時計を使った「時計すごろく」、待ち時間を一人で安定的に過ごすツールを探すために行う様々な余暇活動…いずれもその先に生活を見据えて実施します！

ダンス

放課後等
ディサービス

プロのダンサー×療育スタッフで行う療育としてのダンスです。ノリノリの本格的なヒップホップダンス♪ストレッチをした後、音楽に合わせてステップや振り付けの練習。最後は全員で通し練習！年度末には集大成として発表会を実施します。「上手く踊りたい！」気持ちを高めて主体的な取り組みにつなげると共に、たくさんの人から「見られる」経験、緊張の中でも踊り切るという体験も積みます。

			
まずはストレッチ	鏡で自分の動きを確認	年度末の発表会。力を出し切れるでしょうか…？	

アプローチする療育課題

5領域の関連性:健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性

身体の使い方 粗大運動・協調運動・ ボディイメージ 仲間意識	自分自身では目に見えない身体の動き。鏡に映すことで「見える化」します。鏡に映った姿を見ることで、自分の「感覚」と「実際の動き」が比べられます。「どこをどう動かしたら、どんな動きになるのか？」を繰り返す内に、「この動きをするには、ここをこうやって動かす！」と身体の使い方につながっていきます。自分の身体の動きだけでなく、メンバーみんなで合わせる一体感も大切に！毎月一緒に練習を重ねるうちに「みんなで合わせられた！」体験をします。その楽しさ・嬉しさ・爽快感がグループごとの仲間意識へつながります。
---	--

体操 児童発達支援

体操教室は一般的な“体操教室”的イメージとは違い、競技のコツや身体の動かし方を細かく分解して伝え、練習することで、楽しく運動すること・自信を持って取り組めることを大切にしています。同じ場所・道具を使って、みんなで一緒に取り組む場面と、個別スケジュールを使って個人で取り組む場面の両方があります。

1	じゅうあそび		<input type="radio"/>
2	じゅんびたいそう		<input type="radio"/>
3	だんす		<input type="radio"/>
4	なわあそび		<input type="radio"/>
5	さききつ		<input type="radio"/>



個別スケジュール

参加したら先生に
スタンプを押してもらいます

スクーターボードで
体幹・バランスの練習

ビーンズバッグで
ジャンプ・背伸びの動きを練習

アプローチする療育課題

5領域の関連性:健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性

身体の使い方

粗大運動・協調運動・

ボディイメージ

達成感

一見すると一つに見えるけれど、実は複数の体の部位を同時に動かしたり連動させたりすることの多い体操。動きを細かく分解し、具体的な動き(動作見本)で「見える化」すると共に「言語化」して言葉でも伝えます。その上で練習を重ね、少しずつ身体の使い方を知っていきます。

身体の使い方を知って「できた！」をたくさん積み重ねることで、「もう一回やってみようかな」・「またできた！」・「きっと次もできる」・「やっぱりできた！」・「〇〇もやってみようかな」と運動に楽しさと自信をつけていきます。小学生以降の運動の楽しさと自信の基礎作りです！

体操

放課後等 デイサービス

児童発達支援同様、身体の使い方を知って楽しく・自信を持って運動することが基本です。その上で、放課後等デイサービスの体操は、よりお子さんに合わせた以下の3つに分かれています。

- 体操教室:児童発達支援の体操と同様、身体の使い方知ることが中心
- ムーブメントグループ:「頭」で考え、実際に「体」を動かし、できた嬉しさを「心」で感じ他者と共有すること、それらの良い循環を作ることを重視
- 生涯スポーツグループ:将来の趣味・余暇としてのスポーツを体験



なわとび
八の字の動きを視覚的に
示しながら練習

なわとび
2人跳びで
息を合わせて跳ぶ練習

ムーブメント
ぎりぎりの量を運ぶ方法を「考
え」・「動き」・「喜びを共有する」

バスケットでシュート練習
大学生や社会人も使うコートを利用。
マナーも大切に！

アプローチする療育課題

5領域の関連性:健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性

身体の使い方

粗大運動・協調運動・

ボディイメージ

趣味としてのスポーツ

児童発達支援の体操同様、「見える化」と「言語化」で身体の使い方を知っていきます。併せて学校体育の先取りや集団競技・チームプレイも取り入れ、一緒に取り組む仲間への意識や連携といった、より広い体験と楽しさ・自信につなげます。

人生を豊かに過ごすために必要となる趣味・余暇。その選択肢の一つとなるよう、地域の社会資源(スポーツセンター・競技場等)を活用しながら、様々なスポーツを体験します。趣味として必要なマナー・スポーツマンシップを身に着けることも大切にしています。

Swimming and Wellness IROHA コーチ×療育スタッフで行う療育としてのスイミングです。同じ場所・時間の中で、個別スケジュールを使い、お子さんお一人おひとりに合わせたレッスンを行います。水の特性を存分に活用し、体幹・筋力・身体の使い方へアプローチ。年度末には発表会を実施し、たくさんの人の前で集大成を発表します！



きらめきや水の落ちる音
などの魅力的な刺激を活用

フープの中へジャンプ！
場所がわかると頑張りやすい！

もっと揺らして～！
要求の機会

お母さんのもとまでバタ足
たくさん褒めてもらおう！

ア プ ロ 一 チ す る 療 育 課 題

5領域の関連性:健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性

身体の使い方

粗大運動・協調運動・

ボディイメージ

不安定な水中で姿勢を保持するために必要な体幹・筋力。また、“陸”では感じにくい身体の動きも、水中では水の抵抗・水圧・水温のおかげで感じやすくなります。自分では見えない場所(背中や太ももの裏など)の動きや、手足や左右で違う動きの練習に活かし、身体の使い方を知っていきます。

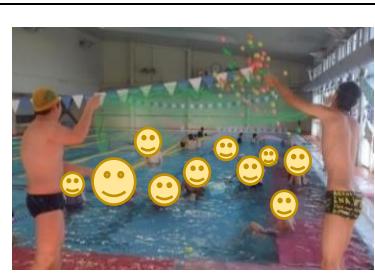
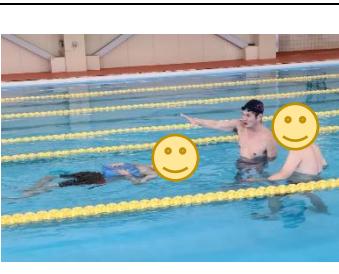
コミュニケーション

“陸”では難しい浮力をを使ったダイナミックな遊びや、水独特の動きや輝きを活かす遊びの中で、「もっとやって！」・「一緒にやって！」などの要求を始めとした大人とのコミュニケーションを育むことも大切にしています。

児童発達支援のスイミング同様、水の特性を活かした体幹・筋力・身体の使い方へのアプローチが基本となります。保護者の方と一緒に身体の使い方の獲得を積み上げた後は、より自立的で将来の趣味や余暇としてのスイミングに視点を定めたグループをご利用いただくこともできます。

- 親子グループ:児童発達支援のスイミングと同様、身体の使い方知ることが中心
- 生涯スポーツグループ:将来の趣味・余暇としてのスイミングに向けた練習・体験を重視

	ビート割をつかって、 キックの練習	○○○
	ビート割で 両手クロールのねんしゅう	○
	ビート割なしで クロールの練習	○
	ぱーるあそび	○
	育成ぎの練習	○○
	パーせりあおう！	○○



個別スケジュール

自分のスケジュールを探して
チェック！

背泳ぎ 25m 達成！

リフレッシュを挟むことで集
中や体力の継続を図ります

ア プ ロ 一 チ す る 療 育 課 題

5領域の関連性:健康・生活、運動・感覚、人間関係・社会性

身体の使い方

粗大運動・協調運動・

ボディイメージ

児童発達支援のスイミングと同様、水の特性を活かして身体の使い方を知っています。必要に応じて水中に鏡を入れ、「見える化」も行います。また、Swimming and Wellness IROHA の進級表を使用して、達成目標と現在の練習内容・進捗状況を明らかにしてモチベーションにつなげます。一つずつ進めて新しい泳法にも挑戦し、より多くの身体の使い方を知っていきます。

趣味としての スイミング

人生を豊かに過ごすために必要となる趣味・余暇。その選択肢の一つとなるよう、「自ら目標を設定し、必要な練習を自分に合ったペースで練習し続け、達成を重ねること」を重視します。

書道教室

放課後等
ディサービス

書道師範×療育スタッフで行う療育としての書道教室です。ダンス・体操・スイミングで取り組む身体の使い方よりも細かな身体の使い方(微細運動)を知ることと自己コントロールが中心となります。書き方のコツや身体の使い方を伝えた上で、それぞれの課題(文字)を繰り返し練習します。年に数回、書道検定の受検機会も設けており、練習の成果が形になること(合格すると証書が授与されます!)、昇級・昇段する喜びを、お子さんの主体的な取り組みに結び付けます。

準備・片付けは手順書に沿って自立的に	まずは指でなぞり練習	新聞紙に筆で練習	いよいよ半紙に本番！

ア プ ロ 一 チ す る 療 育 課 題

5領域の関連性:運動・感覚、認知・行動、人間関係・社会性

身体の使い方
(微細)

正しい姿勢の保持・筆の持ち方・力の入れ方や抜き方・手首の返し方・筆を持たない手の添え方…書道は同時にいくつもの意識を払う必要があります。始めは上手くできなくても、同じ文字を繰り返し練習がすることで段々と意識を払えるものが増えていきます。上手くできるようになったら、新しい文字へ！たくさんのお身体の使い方を知っていきます。

自己コントロール

細かな身体の使い方だけでなく、様々な課題がある書道。半紙にバランス良く書くための空間認知・書き方や注意点を覚えておいて必要な時に思い出すための短期記憶・ゆっくり書くための多動性・衝動性のコントロールなどなど…自分の課題を自分で知り、必要なコントロールをして、自分で納得できる字を書けることが最終目標です！

就労体験

放課後等
ディサービス

いつかは必ずやって来る“大人”的な時期。就労体験では、成人期の生活の中心となる仕事を見据え、様々な作業の体験・仕事に必要なルールやマナー・コミュニケーションの練習・働くモチベーション作りを行います。基本的な流れは、①打ち合わせ ②作業 ③お給料 ④ジュース購入(希望者のみ)。「今月も頑張った！」そんな充実感を感じながら、“稼いだ”お金を使って楽しく過ごす…仕事もプライベートも充実した生活を目指して！

打ち合わせ	ボールペン組み立て	清掃(窓ふき)	梱包	お給料

ア プ ロ 一 チ す る 療 育 課 題

5領域の関連性:健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性

労働の概念と
モチベーション作り

指示通りに働くとお給料がもらえること、お給料があれば自分の好きなこと(趣味・余暇)ができることがあります。そして好きなことをするために頑張って働き、結果好きなことができて、また頑張って働く…という良いサイクル=モチベーション作りも大切にしています。

必要なスキルの獲得

労働と認められるために必要な仕事上のルール・マナー・コミュニケーションの練習を行います。打ち合わせに遅れずに集合する・指示通りに時間一杯作業し続ける・わからないことは取り組み始める前に質問する・終了報告をするといった、基本的だけれど不可欠なスキルの獲得を目指します。